



2023（令和5）年度

二中だより

第22号

2023（令和5）年9月21日 発行責任者 加賀谷 登



授業参観・クリーン作戦お世話になりました

先日（9月16日）に行いました授業参観並びにクリーン作戦，大変お世話になりました。前回4月の授業参観から，お子様たちの様子も変わったと思います。学校やクラスにも慣れ，のびのびと授業を受けていたのではないのでしょうか。

学年・組	教科	ねらい・目標
1年	学活	二中祭文化の部のクラスの出し物について話し合おう
2年1組	美術	お気に入りの曲を抽象形であらわそう
2年2組	国語	一家で食事する場面をまとめよう
3年1組	社会	今後，日本は防衛費によりお金を使うべきか
3年2組	体育	表現力を身につけよう



また，暑い中のクリーン作戦お世話になりました。今年の夏は，雑草にとっては非常に適した気候だったようです。刈っても刈っても

もすぐに伸びるので困り果てていました。保護者の皆様のおかげできれいになりました。子どもたちも一生懸命頑張ってくれました。熱中症も心配されるような暑さの中，ありがとうございました。



お便りの電子化について

先日，案内させていただいたように，学校から保護者の皆様にお配りする各種お便りを，9月からマチコミメールにて配信するようになっています。メール本文だけでなく，添付してあるファイルの確認もお願いいたします。

返事が必要な案内や個人向けのお便りについては，従来どおり紙媒体で送るよういたします。ご理解のほど，よろしくお願いいたします。

橘体育協会様から

ご寄付をいただきました

今年度は，橘町の全町運動会が中止になったので，橘体育協会様で募った賛助会費を学校に分配していただきました。本校の体育祭及びスポーツ等の発展に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

非行防止作文の紹介

8月22日（火）に実施された阿南・那賀中学生非行防止弁論大会に出場予定だった橋本はるなさんの作品を紹介します。橋本さんは、同日に開催された全国中学生総合体育大会（ソフトテニス）と重なったため、弁論大会には出場できませんでした。

言葉の暴力

阿南第二中学校 三年 橋本 はるな

私は日常的にインターネットを利用します。調べたいことをすぐに知ることができるので、とても便利です。しかし、そこには正しいものばかりではないと知りました。

世の中には「誹謗中傷」という言葉があります。この言葉の意味は、「根拠のない悪口やデマを言いふらしたり、それらを投稿することで家族や所属先を含む相手を傷つけたり、人格攻撃をする行為」というものです。このような行為は、絶対にしてはいけないことです。しかし、情報化が進み、誰でも情報を発信できるインターネット上では、今でも誹謗中傷を含む言葉の暴力によって、相手を傷つけています。

インターネットをよく使っている私も、そのような言葉をよく目にします。それはあるSNS上で活動する人に対しての誹謗中傷でした。第三者の私が見ても苦しい言葉でしたが、言われた人はとても傷ついていると思います。

このような行為を目の当たりにしたこともあり、私は誹謗中傷とは、どれくらい恐ろしい行為なのか、調べてみようと思いました。調べてみると、誹謗中傷による、過去の様々な出来事や事件が掲載されていました。中には、誹謗中傷によって自ら命を絶った例もあり、恐怖を感じました。

一体なぜ、このような行為が行われるのでしょうか。なぜなくなるのでしょうか。警視庁のホームページで誹謗中傷について調べてみると、インターネットには匿名性があるという記事が掲載されていました。つまり「バレないから大丈夫」と思って書き込みなどをしてしまうということです。また、誹謗中傷をする人が多いと、自分もやっていいと思う人が出てきて、なかなかなくなるそうです。

一つひとつが小さな傷でも、多くなれば塞がらない心の傷になります。「バレないからいい」「これくらいの言葉なら平気」という考えは間違っています。

言葉の暴力によって苦しむことがないようにするためには、自分の言葉に責任をもつことが大切なのではないでしょうか。自分が発した言葉で相手が傷つかないか。自分が言われたらどう思うか。深く考える必要があると思います。

誰だって心ない言葉をかけられると悲しくなり、心が傷つきます。もしそんな人を見かけたら声をかけてあげてください。支えになってあげてください。心に寄り添うことも、私たちにできることだと思います。これはインターネット上だけのことではありません。自分たちの身の回りでも起こっていませんか。

言葉の暴力はとても恐ろしいものです。面白半分で言われた言葉でも傷つくほど、心はデリケートなものです。また、この傷は目には見えません。だからこそ、私たちは周りをしっかりと見る必要があります。いつもと違う様子の友達はいませんか。陰で悪口を言っている人はいませんか。

言葉は刃物にもなるし、薬にもなると思います。使う人がどう使うかがとても大切です。みんなが幸せになる言葉の使い方を学び、言葉の力を正しく使える未来を、私たちでつくっていきましょう。